

講師の先生のご紹介

○大谷 可奈子 (おおたに かなこ) 氏

環境省 中国四国環境事務所 四国事務所 資源循環課 廃棄物対策等調査官

平成 29 年九州北部豪雨の被災地である福岡県朝倉市に、当時の役職であった災害廃棄物対策専門官として初めて派遣される。

その翌年には平成 30 年 7 月豪雨が発生し、四国内でも愛媛県を中心に甚大な被害が発生。発災 3 日後から愛媛県の被災市町村に常駐し、初動対応から公費解体、災害査定など一連の支援を実施。

それ以降も、全国各地で毎年のように発生する災害の現地派遣を数多く経験している。

昨年 1 月 1 日に発生した令和 6 年能登半島地震では、1 月 7 日から石川県七尾市に環境省支援チームの一員として現地入りをし、それ以降も 5 回にわたり奥能登への支援を行った。

○岡山 朋子 (おかやま ともこ) 氏

大正大学 地域創生学部 地域創生学科 教授

廃棄物管理、循環型社会政策、再生可能エネルギーを専門とし、環境に与える負荷をできるだけ少なくするための環境政策に関する調査研究を行っている。

災害廃棄物に関しては、平成 12 年 9 月に愛知県を中心に起こった東海豪雨において、一晩降り続いた大雨によって多くの車や家財が一晩でごみになった状況を目の当たりにし、災害ごみを減らすためにはどうしたら良いかという視点で、平成 17 年から研究を開始。

災害時のトイレとし尿処理に重点を置いた研究を通して、特に女性がトイレ弱者であることや、災害トイレに関しては行政による公助だけでなく、共助・自助活動が欠かせないことなどを伝えている。

令和 6 年能登半島地震においても、2 月に輪島市及び七尾市の避難所を調査し、避難所管理担当者へのヒアリングや視察を行っている。